

平成27年度事業報告

概要

平成27年度事業は、昨年度に引き続き川崎市、横浜市、相模原市、神奈川県リハビリセンターの4か所において脊髄損傷者等及びそのご家族を対象にピアサポート相談会を実施いたしました。

平成20年度の事業計画で「神奈川県リハビリセンターにおけるピアサポートモデル事業として、グループ相談会やロールモデルの派遣、個別訪問のピアサポート活動などを、神奈川県支部のピアマネージャーや支部役員によって毎月一回定期的実施して行く」として、神奈川県リハビリセンター側と何度も話し合いを持ちましたが、結局実現には至らなかった経緯があり、まずは県内4か所から広く相談を受け付けることになり、全脊連神奈川県支部の役割の一つであるピアサポート事業が、広く県内の一般の脊髄損傷者を対象に本格的に始まった4年目の取り組みとなりました。

もう一つの大きな支部の事業として、共同募金からの助成金事業として、医療セミナー等の様々なセミナーを開催をしておりますが、27年度は労災問題と障害者総合支援法を取り上げました。労災の問題はなかなかわかりにくいことが多いのですが、労災の専門家に詳しくお話を伺うことができ、納得できた方が多いのではないかと思います。又総合支援法も丁寧にお話しをさせていただき、大変有意義なセミナーになりました。

また、その他支部が主催する催事や各協会が実施する催事は、会員やそのご家族にも気軽に参加できるようにご案内して順調に行われました。

1、～あなたの力になれます～

脊髄損傷者のための相談会の実施

～あなたの力になれます～『脊髄損傷者のための相談会』の開催は、永年に亘り脊髄損傷という重い障害と様々な困難を乗り越えてきた貴重な知識と豊富な経験を持つ当事者が、同じ脊髄損傷者等の精神的な支援と社会生活に必要なあらゆる情報を提供する相談会を実施し、脊髄損傷者が再び誇りある社会の一員として活躍できるよう支援して行くことを目的に事業を実施しました。

主 催 全国脊髄損傷者連合会神奈川県支部

協 賛 一般社団法人 日本損害保険協会

公益社団法人 全国脊髄損傷者連合会

(1) 相談会開催期日及び会場

- 第1回 相模原市けやき会館3階セミナールーム
平成27年9月22日(日)13時00分～16時00分
- 第2回 すくらむ21(川崎市男女共同参画センター)3階会議室
平成27年11月8日(日)13時30分～16時30分
- 第3回 横浜ラ・ポール
平成27年11月11日(水)13時～15時
- 第4回 神奈川県総合リハビリテーションセンター4階会議室
平成28年2月13日(土)13時～15時

(2) 個別相談者 合計3名

- 第1回 相談者なし
- 第2回1名 Aさん(男)51歳 痙性対麻痺
- 第3回 相談者なしのため、勉強会を行う
- 第4回1名 Bさんご夫婦 20歳の頸髄損傷の息子の相談

* その他個別相談

鶴巻温泉病院 Cさん(男)65歳 脊髄損傷

(3) 支部出席者 延べ15名うちボランティア11名

- 第1回2名 妻屋、赤城、ボラ2名
- 第2回4名 妻屋、澤藤、北島、山崎昇、ボラ3名
- 第3回2名 妻屋、赤城、ボラ2名
- 第4回7名 山崎昇、妻屋、赤城、路川みどり、澤藤、町田、宝子山、ボラ4名

(4) 個別相談会の内容

個別相談会を相模原市、川崎市、横浜市、神奈川リハセンター(厚木市)の4か所で実施し、男性1名、男女2名の合計2組の相談を受けた。又、相談を受ける支部役員は、延べ15名でボランティア11名であった。尚、横浜ラ・ポールで行った相談会は、相談者ゼロであったため、ピアサポートの勉強会を行った。

相談の内容はAさん(男)痙性対麻痺の人からは、両杖での歩行が可能であるが、体力的に厳しくなっていることや、周囲の視線が気になることなどから、車いすを利用することを考えている。自身はまれな障害であると言われているが、同じような障害の人と接点を持ちたいという希望があった。

Bさん（ご夫婦）20歳の交通事故で頸髄損傷になった息子さんの相談であったが、大学途中での事故で、リハビリをして本人は大学へ復学したいといっているが、リハビリで受け入れてくれる病院はあるのかなどの相談であった。

* 鶴巻温泉病院の個人ピアサポート Cさん

胸椎の12番くらいの障害だが、奥さんがどうしていいかわからずにうろたえていた。

脊損にしては状態もいい方だし、家のお風呂・トイレ等を改造すれば以前と変わらずに暮らせることを伝えたところ、その後病院でトイレのリハビリを終え、自宅に帰れたという連絡があった。

（5）実施に当たっての所感

ピアサポート事業は、今回で4年目の実施となったが、今後、支部の定例活動として継続していくには、更に相談者を増やすことが必要と考えている。それには相談会の開催回数を増やすことと、開催のための広報活動をもっと活発に広範囲に行っていくことが必要である。支部活動にはこのような課題があるが、脊髄損傷者とその家族を対象とする相談会を神奈川県内に定着させ、普及を促進することが私たち支部のためであり、県内の脊髄損傷者やそのご家族のためであると考えている。

2、共同募金助成のセミナーの開催

「脊髄損傷の労災補償」

講師 全国労働安全センター連絡会議 事務局長
古谷 杉郎 氏

最初に、毎年新規に労災と認定される人たちがどれくらいいるか、その中で脊髄損傷の人がどれくらいいるか、2004年以降の調査では、大体650人前後いるということでした。

傷病年金で一番有名なものはじん肺と脊髄損傷ですが、じん肺は埃を予防するというので、全体数も減ってきているが、脊髄損傷の新たな該当者はそれほど減っていない。それは転落事故や交通事故などの原因が多く、あまり減っていないということである。

労災保険から給付を受けられるものとして、療養開始後1年6か月たっても治らない時は傷病年金となり、障害が残った時は障害年金として給付を受けることができる。

傷病年金の場合は労働者の請求によらず、国が職権で支給・不支給を決定す

るため、医師の診断書を添えて労働基準監督署へ提出しなければならない。

傷病年金、障害年金を受給しているもののうち、一定の障害で現に介護を受けている場合は月単位で介護給付を受けられる。

また、遺族（補償）給付と言って、業務上の事由または通勤により死亡した場合は、その遺族に対して労災保険から遺族補償給付が支給されます。

その他、葬祭料が支給されること等々わかりやすく話してもらいました。

「生活に生かす障害者総合支援法」

講師 全国脊髄損傷者連合会 神奈川県支部副支部長
澤藤 充教 氏

障害福祉サービスの利用について、障害者を対象としたサービスにはどのようなものがあるか、市町村が行う自立支援給付にはどのようなものがあるか、また地域生活支援事業にはどのようなものがあるかなどの説明がありました。

例えば、自立支援給付のなかでよく利用するのは、介護給付として居宅介護（ホームヘルプ）、重度訪問介護等があり、訓練等給付として自立訓練、共同生活援助（グループホーム）等がある。その他相談支援、利用の手続き、利用者負担の仕組みと軽減措置、補装具の制度等など項目別に詳しくお話を聞くことができました。

3、平成27年度支部総会の開催

開催日 平成27年 6月21日（日）

場 所 フォーラム246 会議室
懇親会

支部定例総会 出 席 者 12名

委任状提出者 38名

合 計 50名

「資格審査」

平成27年度4月1日現在の支部会員数は92名であり、会則第10条2項による総会成立の定足数は47名以上となり、今総会は成立しました。

（総会議事）

議長の選任を諮り、川崎協会の田辺昌美さんを選任し、議事の審議へと進めました。山崎支部長、町田財政部長より平成26年度事業と平成26年度決算報告及び路川みどり会計監査の監査報告が行われました。

第1号議案 平成26年度事業報告

- (1) 脊髄損傷者のピアマネジャー現任研修会の開催報告
- (2) 平成26年度支部総会の開催報告
- (3) 定例役員会の開催 第223回から第228回までの6回
- (4) 支部会報「やわらぎ」の発行 第93号94号の2回発行
- (5) 支部忘年会の開催報告
- (6) 共同募金活動への参加 相模原駅前、厚木駅前、横浜駅西口の3か所
- (7) 第13回全国総会神奈川県大会出席
- (8) 関東ブロック会議群馬県大会出席 赤城副支部長が参加。本部から妻屋代表理事が出席、付き添いを含め4名が参加
- (9) 協会活動報告 川崎、横浜、県央の各協会報告
- (10) その他の活動報告 県内の各関係機関への参加活動報告

第2号議案 平成26年度決算報告及び監査報告

- (1) 貸借対照表
- (2) 収支決算書
- (3) 平成26年度監査報告書
- (4) 付属 地区協会決算報告書

以上、平成26年度事業報告、平成26年度決算報告及び監査報告を一括審議の結果全会一致で承認されました。

また、第3号議案の平成27年度活動方針及び、川崎、横浜、厚木、相模原市の4か所の公共施設においてピアサポート相談会の開催などの事業計画および第4号議案の平成27年度予算案は支部提案通り全会一致で承認されました。

・懇親会の開催

支部の懇親会は、会員をはじめそのご家族や友人も参加して相互の親睦を深めることを目的に支部総会時に毎年開催しております。

今回も合わせて13名が参加してカラオケやビンゴゲーム、料理を楽しみながら歓談しました。

3、定例役員会の開催

神奈川県支部を運営して37年目を迎えた平成27年度も定例役員会は順調に2か月に1回の割合で計6回開催しました。

役員会には、支部役員が毎回出席して支部活動に関する報告や企画、催事の開催と調整などについて協議を行うなど、支部の運営はすべてこの役員会の合議を経て維持されています。

役員会	開催日	開催会場
第229回	平成27年 4月26日	相模原市「けやき会館」
第230回	平成27年 6月21日	伊勢原市「フォーラム246」
第231回	平成27年 8月23日	相模原市「けやき会館」
第232回	平成27年10月18日	相模原市「けやき会館」
第233回	平成27年12月12日	伊勢原市「フォーラム246」
第234回	平成28年 2月13日	神奈川リハビリセンター

4、支部会報「やわらぎ」の発行

平成27年度「やわらぎ」の発行は、第95号、第96号、第97号の3回発行になりました。

第95号は総会議案書。

第96号は役員改選があり、新支部長の挨拶文、支部総会の報告、第14回総会大阪大会の報告、川崎協会のセミナー「確認しておきたい食事の基本」、グラウンドゴルフ大会の報告、ユニバーサルタクシーで行く川崎工場、等が掲載されています。

第97号は川崎協会のセミナー「手軽にできるエクササイズ」の報告、「チヨコッとロンドン」の旅行記、ランチ会の報告、自動車無料点検等が掲載されています。

* やわらぎ第95号（総会議案書）……………平成27年6月 4日発行

* やわらぎ第96号……………平成27年8月26日発行

* やわらぎ第97号……………平成28年3月14日発行

5、共同募金活動に参加

赤い羽根の共同募金は、民間社会福祉事業やボランティア・市民活動をはじめとする地域での支え合い活動を支援する資金となるとともに、募金活動を通して市民に助け合いの心を普及する大きな意義を持っていると言われています。支部では、毎年この活動に参加しています。

昨年度は、10月1日に横浜駅西口で妻屋と赤城他1名が参加。相模原では10月5日に相模原市役所前で赤城が参加しました。

6、全国総会大阪府大会出席

全脊連の第14回全国総会は、6月5日から6日までの日程で、大阪府ビッグ・アイにおいて開催され、全国から社員が出席しました。

支部から、山崎昇、妻屋、赤城、澤藤が出席しましたが、全員本部役員にな

っています。

総会は、26年度事業報告、決算報告、監査報告、27年度事業計画および予算案についてなどの審議が行われ、すべて可決されました。その後大会スロークの採択と次期全国総会を岡山県で開催することを決め、全国総会は終了しました。

7、第38回関東・甲信ブロック会議 埼玉県大会出席

関東地区の東京都、神奈川県、千葉県、群馬県、栃木県、埼玉県、長野県、茨城県、山梨県の各支部が一同に会して、障害者福祉制度やバリアフリー環境の問題点等について意見交換と情報交換と親睦を兼ねて、毎年持ち回りで開催しています。

埼玉県大会は、10月3日、ラフレ埼玉で開催され、支部から赤城と山崎昇の2名が出席しました。妻屋は本部からの出席になりました。

8、脊損のピアマネジャー現任研修会に出席

開催日	平成27年11月14日(土)
会場	長野県 メルパルク長野
主催	全国脊髄損傷者連合会 関東ブロック会
主管	全国脊髄損傷者連合会長野県支部
支部出席者	妻屋・赤城の2名と付き添いを含め4名参加

・プログラム

講演 「公的介護の支援賢い利用術」
マイステップ相談支援専門員 羽入田幸子さんの話がありました。
そのあと演習問題3例を行いました。

日本損害保険協会助成事業として全脊連が全国規模で毎年開催している関東ブロックでの脊損のピアマネジャー現任研修会は、言うまでもなくピアサポート活動を行う上で必要な技術と資質の向上を目的としていますが、各支部での活動がもっと普及されることが大切であり、研修会の内容をさらに改善する必要があると思われます。

9、障害者用自動車の無料点検サービスの実施

10月24日神奈川県リハビリテーション病院、駐車場で実施
参加者40数台の点検を行う

手動装置の付いた障害者用自動車は、移動制約者である私たちの行動範囲を無限に広げてくれます。しかし、装置の点検をはじめオイル交換やタイヤ周りなど自動車自体の点検は、安全運転をするうえで不可欠となります。支部では神奈川県の障害のある人の移動を支援する目的で、JAF神奈川支部と（株）ニッシン自動車工業の協力による無料で行う点検サービスを毎年1回神奈川県リハビリテーション病院の駐車場をお借りして実施しています。

10、各協会報告

27年度は、川崎、県央の各協会がそれぞれ催事を開催し、会員の皆様にご案内し参加者を募りました。

(1) 川崎協会

「手軽にできるエクササイズ」

開催日	平成27年11月26日（土）
会場	川崎市国際交流センター
講師	高垣 茂子氏
参加者	20名
懇親会	23名

参加者はそれほど多くはありませんでしたが、当日はお天気にも恵まれ日ごろの運動不足を解消できた人が多かったようです。何よりも楽しみながら体を動かせたので、年に1度はこういう企画があってもいいのではないかと思います。そして皆さんも大いに楽しまれたようです。

11、その他の活動

- 1、赤城支部長が県社協の2種・3種会議に出席しました。
- 2、路川体育部長は、神奈川県社会参加促進センターの委員として毎月の会議に出席しました。